

奈良市立青和小学校において 土砂災害防止の出前講座を開催しました

奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課

令和3年10月7日（木）、奈良市立青和小学校の4年生を対象に、土砂災害防止および防災に関する出前講座を開催しました。**今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面方式と校内別教室からのオンライン方式を併用して講座を行いました。**また、奈良県の土木職OBで構成される奈良県砂防ボランティア協会とも協力し、災害対応の体験談などをお話いただきました。以下、実施の様態をお伝えします。

① 講座の概要

■日時：令和3年10月7日（木）
09：40～12：20
（2・3・4限目、1クラスずつ1限×3）
13：55～14：40
（5限目、3クラス一斉配信）

■タイムスケジュール

【前半（対面：2限目〈9:40～10:25〉を例に）】

09：40～	土砂災害ってなに？ 奈良県の特徴と災害の関係
09：50～	奈良県で発生した災害の紹介 （土砂災害を中心に）
10：00～	土砂災害の種類について 表層崩壊と深層崩壊の違い 模型を用いた表層崩壊と深層崩壊の実演と危険箇所の確認 奈良県の砂防事業の紹介
10：20～	質疑応答

■受講対象：奈良市立青和小学校4年生
（3クラス、79名）

■講座形式：**2・3・4限目…図工室で対面講座**
5限目…校内ネットワークを使いオンライン講座を
3クラス一斉に配信

【後半（オンライン：5限目〈13:55～14:40〉）】

13：55～	砂防ボランティアによる講話 （紀伊半島大水害時に県職員として対応にあたった経験）
14：10～	児童が受講前に考えた質問に ボランティアより回答 講話を聴いた児童からの質問
14：25～	災害時の避難方法について 避難に役立つ情報の紹介 日頃からの備えについて
14：35～	講座のまとめ

② 受講した児童の感想

- ・土砂災害の色々なことを知れたり、こわいことや逃げる方法などが分かったので、家族に話したいです。写真や画ぞうで見てくださったので、とても分かりやすかったです。
- ・初めて聞いた、表層崩壊や深層崩壊の意味がとても分かりやすい説明で、しっかり頭に入りました。
- ・やっぱり土砂災害はこわいなと感じました。表そうほうかいと深そうほうかいの違いをくわしくもけいで教えてもらったので、とても分かりやすかったです。
- ・（砂防ボランティアの講話を聴いて）命をなくすかもしれない危ない場所で、住んでいる人のことを考えて仕事をしていることが分かりました。

- ・いままでうちはだいじょうぶと思っていたけど、あぶないことがわかりました。ひなんルートやもちもの、家族とのまちあわせ場所をかくにんしておきます。
- ・大雨けいほうや土砂災害警戒情報で全員ひなんしないといけなことがわかりました。ハザードマップを見て、ひなんする時に必要なものを用意しておこうと思います。
- ・（講座を聞いて）ぎもんが頭にうかんでいたら、質問にちゃんとこたえてくれたのでよくわかりました。
- ・これからも、いつ災害がおこるかは分からないので、しっかりひなん場所などをかくにんしようと思います。とても楽しかったです！！

→当日の様態は裏面

奈良市立青和小学校において 土砂災害防止の出前講座を開催しました

奈良県 県土マネジメント部 砂防・災害対策課

③ 当日の様様

【使用したモニター・模型】



【土砂災害に関するクイズ】



【土砂災害の種類について】



【表層崩壊と深層崩壊について模型とアニメーションで学習】



【疑問点を職員へ質問】



【砂防ボランティアによる紀伊半島大水害についての講話】



【職員によるオンライン講座】



【教室での受講風景】



【オンライン上で質問】



【児童の感想文】

